



いいたて 議会だより



発行：福島県飯館村議会
編集：議会広報編集特別委員会



【 村民グランドゴルフ大会のプレーの様子 】

決算審査特別委員会	2～3
平成30年度飯館村全ての会計決算を認定	
議案審議「ザ・議論」	4～5
義務教育学校名が決定「いいたて希望の里学園」	
一般質問「村政ここが聞きたい!!」	6～12
第6次総合振興計画策定委員会が始まる	
審議結果	13～15
議会の動き・常任委員会活動・編集後記	16

平成30年度決算審査特別委員会

全ての会計決算を認定

一般会計決算額は、過去2番目の規模

〜復旧・復興事業に131億円〜

平成30年度の予算執行について、総括的質疑と確認を行う決算審査特別委員会（相良弘委員長、佐藤一郎副委員長）が9月10日から12日までの3日間行われた。平成30年度一般会計歳入総額は、16億9,476万円、歳出総額は16億4,213万円で、8億5,934万円の黒字決算となり、翌年度へ繰越す3億1,257万円を差し引いた実質収支は、5億4,676万円、そのうち地方自治法の定めにより、財政調整基金へ3億円を積立した。前年度と比較し歳入は33億1,728万円、歳出は16億7,758万円とそれぞれ減となった。また決算額のなか

で、復旧・復興事業に要した歳出総額は131億6,922万円となり、歳出全体の82%を占める決算となった。

採決の結果、一般会計決算は、認定とすることに賛成多数で、5件の特別会計は、全会一致で認定とすべきと決した。



▲決算審査特別委員会の様子

決算審査意見書(抜粋)

審査に付された平成30年度一般会計及び各特別会計の歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書並びに各基金の運用状況の関係諸表等の計数は正確であり、事業経営の適正かつ効果的な予算執行についても、概ね妥当であると認めた。

令和元年8月30日

飯館村監査委員

高橋 賢治

佐藤 健太

平成30年度 一般会計及び各特別会計決算額並びに採決結果

単位：万円

	歳入	歳出	差引	委員会採決の結果
一般会計	1,690,147	1,604,213	85,934	認定3 不認定2
国民健康保険特別会計	118,780	110,815	7,965	全員認定
介護保険特別会計(事業勘定)	110,050	107,097	2,953	全員認定
簡易水道事業特別会計	12,551	12,521	30	全員認定
農業集落排水事業特別会計	15,422	15,392	30	全員認定
後期高齢者医療特別会計	3,142	3,092	50	全員認定

※金額は端数処理し万円単位にしています。

歳入歳出決算審査意見について

質問 29年度の歳入歳出決算審査意見については、予算流用については指摘がされていたが、30年度決算については、どうだったのか伺う。

答弁 29年度については目間流用がありました。地方自治法及び村の財務規則で流用にかかる禁止事項が定められています。30年度については改善されており、ご質問のような会計処理はありません。

ふるさと納税について

質問 国も含めてふるさと納税については、いろいろ問題点が出されていますが、村独自の返礼品がない中で今後の課題を伺う。

答弁 できるだけ村産品を少しずつ増やして

営農再開支援事業について

質問 営農再開支援事業については、令和2年度もこの内容で予算がつけてもらえるのかどうか伺う。

答弁 農地維持管理の一反当り上限3万5千円については避難指示



スクールバスの運行について

質問 飯館の運行費は非常に高いという話が聞かれるがこれについては妥当なのかどうか伺う。

答弁 村のバスでは賄えない路線もあるため

サポートセンターつなごっぺについて

質問 まだ利用したい人がいるが手狭になっていくとの話を聞いている。今後の計画を伺う。

答弁 現在一日20人が定員となっており、それ以上の受入れは困難となっております。

大倉の水道について

質問 昨年、大倉の水道は廃止するとの計画提示に、行政区ヒヤリングのなかでもこれを取り上げてきたが、計画が2転3転しているのはどういうことか伺う。

答弁 大倉浄水場については以前から源水の確保に苦慮しています。現在東電の井戸掘削という事業があるので、その分で補えれば施設の廃止もできるのではないかと検討事項



ザ・議論

7月(第6回)臨時会では、予算案件2件、
条例案件1件、その他案件10件
9月(第7回)定例会では、予算案件2件、
決算案認定6件、条例案件6件、その他
案件(契約承認)7件、人事案件1件、発
委2件を審議、議論が交わされました。

9月定例会

(条例制定)

飯館村立義務教 育学校設置条例に ついて

Q12

質問 「飯館村立いい
たて希望の里学園」と
いう名前が出てきた
が、少し長いのではな
いか。

文章(文字の並び)
などは検討されたのか
を伺う。

答弁 義務教育学校の
開校準備委員会におき
まして、この校名候補
を議論の上、決定しま
した。

飯館村は震災におい
て多大な被害を被った
中で、子供たちは村の
希望であるという観点
からこの「希望」とい
う文字と、さらには飯
館村唯一の学校である
ということから「里」
というものを入れて、

今回の「希望の里学園」
となりました。

また、文法上の検討
はしておりませんが、
準備委員会の委員それ
ぞれにご意見を述べて
いただいた上での決定
となっておりますので、ご理解をお願い
します。

質問 校名を決めるに
あたつての準備委員会

の議事録を見ると、委
員長が村長であり、ど
うも委員長である村長
がこの名前にしたくて
誘導しているというよ
うにしか取れない。委
員の意見については、
意見を言わせることで
不満を抑えようとして
いるように感じる。こ
の委員会の中で村長が
委員を誘導したのでは

ないかと思うのだが、
いかがか。

答弁 委員は大勢いま
したけれども、それぞ
れに意見を述べていた
だくということ、ひ
と回り意見を伺い、そ
の上でさらにまたお話
しをさせていたのだい
て、ふた回りの意見
を伺いました。

多数決で誰がどうい
った、こういったとい
う話ではないほうがい
いのではないだろうか
ということ、大方の
意見を聞かせていただ
いて「希望・里・丘」
があったのですが、「希
望の里学園」というの
がどちらかというと、
今の村の状況を表現し
ているのではないかと
いうことで判断させて
いただいたので、強引
に私が誘導したとか決
めさせたいということ
はございませんので、
ご理解いただきたいと
思います。

なお、先ほどの質問
で、いわゆる「言葉の
場所によって」という
話がありました。ご
存知のように「ふたば
未来学園」があります
が、これはもう今「ふ
たば未来」でほとんど
通っています。とい
うことでございます
ので、長いことは長
いかもしれませんが、
もしも短く呼ぶ方
になるだろうと思
います。そうします
と、「希望の里飯館」
よりは「希望の里飯
館」という方が「ふ
たば未来」と同じ
ような流れで、「い
いたて」がやっぱり
先に来るといこと
が飯館の学校だとい
う認識になるとい
うこともあ
るのではないかと
思っています。



▲開校準備委員会のようす

(補正予算)

固定資産(土地)の鑑定

質問 固定資産課税のための不動産鑑定業務の方法を伺う。

答弁 3年に1回の鑑定評価であります。今回は、45ヶ所を不動産鑑定士に依頼をして調査をする内容となっております。

相馬仮設住宅の遊具移設

質問 相馬仮設住宅遊具移設について、これはどこに移設して使用していくのかを伺う。

答弁 相馬仮設からの遊具の移設場所ですが、今教育課と協議をしておりますが、旧飯樋小学校校庭または、センター地区の学校施設も候補として検討しております。

(契約締結)

飯舘村ライスセンター等用地造成工事請負契約について

質問 ライスセンターの事業の運営とか管理体制はどうなっているのかを伺う。

答弁 今回のライスセンターの事業は、運営については、農協が行うということで計画をしております。

当然、村の中で収穫したものを集荷し出荷することになりますので、農協の運営の体制の中で管理することとさせていただきます。



7月臨時会

(補正予算)

スポーツ公園管理棟の防犯カメラ設置について

質問 監視カメラ設置工事において、設置場所と台数を伺う。

答弁 スポーツ公園の管理棟内にフィットネススペースを設けておりますが、利用は基本的に自己管理としており、職員がつかないで利用をしていただくことから、安全面・防犯面を考慮して監視カメラを1基設置したいと考えております。



▲防犯カメラ

(契約締結)

水道水の放射線測定器導入

質問 飯舘村簡易水道監視設備等整備工事請負契約の工事概要に放射線測定施設とあるが、これはなにか伺う。

答弁 滝下浄水場にゲルマニウム半導体の放射線測定器の設置を考えております。

当初の計画では、全施設に設置の計画でありましたが、高額なものでして、後のメンテナンスを考え、滝下一カ所に設置して、そこに各浄水場から毎日浄水を持ち込み、それぞれの放射線量を測る予定です。

質問 ゲルマニウム半導体測定器の設置場所について伺う。

答弁 現在の建物の中には設置できるスペースはありませんので、コンテナ的な建物の中

で外部の放射線の影響のないように設置する予定です。



▲ゲルマニウム測定器 (※写真はイメージです)

(契約締結)

伊丹沢・八木沢・前田に小型ポンプ車

質問 入札が3回行われたようだが、なぜか。また、落札率が100%になったことは関連しているのか伺う。

答弁 指名競争入札において、3回目で落札となりました。

落札率100%との関連があるかということですが、何回か入札を重ねることに予定価格に近づきますが、100%というのは偶然だったと思われ



▲小型ポンプ付積載車(※写真はイメージです)



▲小型ポンプ付積載車(※写真はイメージです)

ズバリ 村政

一般質問 Q & A

ここが
ききたい!!

9月定例会の一般質問には6議員が登壇し、村行政の考えや対応策について問いました。質問順に質疑応答を要約し掲載しています。

高橋 和幸 議員

- 1 行政運営と行政執行について
- 2 帰還率について

長正 利一 議員

- 1 村の財政状況について
- 2 営農再開支援事業について
- 3 福島再生加速化交付金事業について
- 4 参議院議員選挙結果における投票率について
- 5 クロス発電について

佐藤 八郎 議員

- 1 帰村された村民の生活環境について
- 2 村民への賠償について
- 3 村民生活支援について
- 4 国の約束、賠償など役割、責任について

高橋 孝雄 議員

- 1 村道管理基準について

佐藤 健太 議員

- 1 第6次総合振興計画について
- 2 道の駅について
- 3 復興拠点について
- 4 パークゴルフ場について
- 5 村の農産物について

佐藤 一郎 議員

- 1 総合振興計画策定について
- 2 復興重点事業について
- 3 深谷復興拠点道の駅等について
- 4 義務教育学校について

※一般質問とは
議員が村の行政全般について、事務の執行状況や将来の方針等について村の執行機関などの見解や取り組みについて質したり、提案・誘導していく政策議論です。

議会を傍聴してみませんか

氏名の記入など簡単な手続きで傍聴できます。是非おいでください。

※タブレット・パソコンでも議会中継がご覧になれます。



佐藤 八郎 議員

質 放射性物質の自然環境・人への影響は

答 セシウム134、137を注視していきます

質問 国が発表している放射線物質（毒物）31核種について、物質名、毒性、半減期と、自然界、人々に与える影響を示すべきだ。

答 国は自然界に放出された核種は31核種と発表していますが、村で確認しているのはセシウムとヨウ素です。

質問 村が確認をした年月日と方法は。プル

トニウム、ストロンチウムは、身体に影響がありますが、セシウムとヨウ素の2種類だけの確認だとするとどうしてそうなのですか。

国、東電の言いなりの検証なのか。

答 村ではガンマ線を測定しています。アルファ線、ベータ線は飛ぶ距離が短いので、ガンマ線のみを計測し

たものを公表し、モニタリングマップも示しています。

質問 村民の健康の為に、村全面積の約85%が無除染の状況からして、どうなのか。世界中の英知による検証をされるのが基本ではないか。

答 放射性物質31核種ということですが、被ばく要因となるセシウム134、137を注視して検証しています。

帰村者の食生活による被ばくが心配

質問 食品に関する問題でキノコ、コシアブラ

などが高濃度としているが、食物の安全性のお知らせ、検査の結果等を周知しているのか。

答 広報などで、放射線量が高いと伝え、食べないように周知しています。

木材市場出荷

質問 杉材は、中心部

まで放射性物質が浸透していることが可視化され、明らかになっていくが、佐須の前乗地区の販売された杉90㎡は可視化の検査はしたのか。

答 そのように、認識しておりますが、県による樹皮の計測を行った上で、許可を受け、販売しております。



▲除染廃棄物

放射能による環境汚染

質問 自然界への影響は専門的な知見がない

のでわからないとしているが、健康や命の問題でわからないという答弁は最悪である。村の環境実態をきちんと検証すべきである。

答 いろいろな方を頼んで調査するよりは公共性の高い方法で調べた結果を参考に、行政としては対応するのがベターだと考えております。

発言 村民は健康である権利を侵害される理由はありません。

損害賠償における役割を果たせ

質問 村は国の基準の

とおり損害賠償を進めているとしているが、基準に当てはまらない村民は、ADR、裁判で進めろというが、ADR、裁判への対応は誰でも簡単には出来ない。手続きが出来ない賠償を請求できない村民は見放すのか。

答 個別相談、弁護士相談など相談窓口を充実して参ります。

介護保険サービス検討委員会

質問 介護保険サービ

ス検討委員会では村民要望、対応、課題などの実態はどうなのか。願いをどうつかもうとしているのか。アンケートなどを行う予定はあるのか。

答 アンケートは実施しておりません。

現在、介護や医療のスタッフが不足しておりますので、今後の医療・介護サービスについて、関係者による検討を行い、報告できるように進めて参ります。





長正 利一 議員

質 公共施設の維持管理費は万全なのか

答 「公共施設維持管理基金(仮称)」の設置を検討していきます

村の財政状況について

質問 道の駅、学校、スポーツ公園等数多くの公共施設を国の復興関連交付金を活用し建設してきたが、維持管理費の財源確保は万全なのか伺う。

答弁 公共施設の年間維持管理費は公共施設の解体等もあり、年間で2億円程度を要するものと見込んでいます。平成28年から78カ所

充て、負担の軽減を図っていきます。
また、将来の公共施設の維持管理経費に充当するため「公共施設維持管理基金(仮称)」の設置も検討してまいります。

質 営農再開支援事業「上限枠反3万5千円」について

質問 各行政区で復興組合を中心として農地保全管理に積極的に取り組んできたが、本年度限りで「農地保全管理支援事業(上限枠反3万5千円)」が終了することにより、農地は荒廃や原野化が進み、原風景の崩壊など、悪影響を及ぼすことが予測される。村としての支援対策はあるのか伺う。

答弁 次年度からは「担い手へ集積する候補の農地(貸付可能地)」を選定することにより、10アールあたり

1万2千円を上限に除草管理等を実施することが可能となります。事業要件に「担い手の確保に向けた取り組みが実施されていること」とあるため、今後「自分で作付け管理していく農地」、「担い手に貸付けることが可能な農地」、「その他の農地」の色分けによる作図が必要となります。この事業は、いわゆる「農地を守る」ための経費支援ですが、中山間地域等直接支払交付金事業、多面的機能支払交付金を活動費としての活用も可能となります。

福島再生加速化交付金事業について

質問 外内地内にブロッコリー育苗ハウス施設(南会津高原ファーム)建設に向けた進捗状況について伺う。

答弁 平成29年度に下郷町に所在する南会津高原ファームから、ブ

クロス発電について

質問 村と東光電気工事が出資する「いいたてまでいな再生エネ発電」は、大火山で運営する太陽光と風力を組み合わせた「クロス発電」を平成31年4月稼働予定としていた。村は、配当金や固定資産税など新たに数億円規模の収入を見込み復興財源に充当する計画である

ロッコリー育苗ハウス施設等を村内に整備したいとの要望があり、村としては用地の確保と事業計画の提出を要請しております。
事業費、用地面積など大規模なものが想定されており、村が事業主体となる計画であるため、現状を踏まえた適正規模への見直しを依頼しているところであり、協議が整えば事業の申請に向けて進めてまいります。

令和21年度までの20年間で固定資産税・配当金・草地使用料などで20億円の収入を見込んでおり、復興財源などに充当していく予定です。

が、工期遅れの要因・財源確保への影響・進捗状況について伺う。
答弁 31年4月稼働予定としていましたが、風車設置に伴い放送電波に障害が生ずる恐れがあることから、設置場所を変更する必要が生じましたが、来年4月には稼働できると考えております。発電開始により、効率的な発電で収入の増加につながるかと考えています。
本事業収入は、本年度分として、4000万円の株式配当があり、令和2年度からは、固定資産税約2300万円、配当金も今年度同額程度を見込んでいます。



高橋 和幸 議員

質 これまでの行政運営及び行政執行について

答 村民の福祉向上や行政サービスに取組んできた

質問 村が今まで成し遂げた義務責務役割等、住民の意志と福祉向上に向けた実績等を伺う。

答 道の駅や昇口舗装、防犯面の強化、村営住宅整備、食品の放射性物質の測定、いつとき帰宅バス、携帯電話不通話地域の解消、営農再開、いたてクリニックの再開、学校等の再開や住民懇談会

などを実施しています。第6次総合振興計画策定の年なので、今までの実績をふまえた計画を策定していきたいと考えております。

質問 村内に住所を有しているれば、住民に村民であり、誰彼問わず各種サービスを各権利を保障されている。行政サービスの具体的な成果を伺う。



▲昇口舗装事業により整備された昇口

答 避難解除後も様々な課題はありますが、懇談会を開催し、介護や在宅ヘルパー、薬局や診療所、防犯面は見守り隊など、出来るものから不安を解消し、村外と村内居住者も視点の違いや課題、悩みも問題もあるので、意見を聞き総合振興計画に活かし、国や県にも要望しつつ対応して参ります。

質問 行政としての役割と責任を本当に理解

答 再々、見識と認識を伺う。確かに答弁の中にそういう部分は多くあったと反省しています。ただ、予算は国からのものが多くあり、普通は出来ない事も、懐に飛び込んで実現してきたこともあり、

今後、責任転換する形にならないように気をつけて参りますので、ご理解ください。

帰還意欲促進の施策は

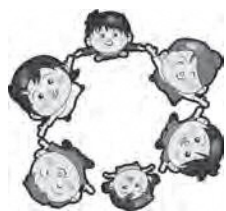
質問 帰還意欲促進の為に村として、どのような行政計画を検討しているのかを伺う。

答 今後の帰還促進の為に施策は、医療・介護、生鮮食品等の買い物環境の整備、里山再生、足の確保、放射性除去廃棄物の早期搬出等、出来る事から順次取り組んで参ります。

行政不信払しょくへの取組みについて

質問 行政不信は著しく、故郷への愛着は薄れ、若者の帰還に多大な影響を及ぼしている。村民の意志、思考を最重要視した取り組みが大切で、村民の信頼を

取り戻せる時期の今、真摯に向き合う姿勢と課題を伺う。
答 原発事故の特異性と言う事で、帰る人、帰らない人に無理強いは出来ないで、議会と一緒に考えて行かなければいけないと思っております。住み良い環境作り対策が帰還率に繋がると思いますが、今までも行政区へのヒヤリングを開催し、各地区の要望等も聞き、改善策を考えて参りました。
今後も環境整備をしながら長期戦で行くしかないと思っております、帰りたいと思える村作り、村民の意志を尊重した村作りを引き続き進めて参ります。





佐藤 一郎 議員

質 総合振興計画について

答 3拠点地域とその周辺の地区の課題を把握しながら進めてまいります

質問 総合振興計画策定にあたり「村づくりの拠点整備」は、これまで草野、飯樋、白石の3拠点に20行政区の繋がりを果たしながら村づくりを進めてきた。

ここ数年で3拠点でも住宅の解体が進み、この従来の拠点整備を含め、村総合振興計画ではどのようなまとめ方をしようとしているのか、現状と方針、進

め方について伺う。

答 復興計画第3版において3拠点を再整備して、生活再開・再建につなげることであります。

現在、二枚橋、白石、草野地区で整備が進められている県道原町川俣線バイパス整備により、朝晩の交通ラッシュ時の円滑な車両の通行と地区住民の安全性の確保が保たれるものと

考えております。

また、住宅解体により空き地が増加していることから、空き地の再利用など、各地区の活性化につながる取り組みや、3拠点地域以外の周辺地区の課題を把握しながら、農業基盤整備など生活基盤の整備や地域間の連携などハード事業とソフト事業の両輪による支援を検討してまいります。

復興重点事業について

質問 新聞で「復興庁の存続」について報道されたが、いま進めている重点事業の積み残しを心配している。復興庁の期間延長・復興基本方針等、村から要望している内容について伺う。

答 本村としては、これまで、相馬地方市町村会と共に専任大臣の設置、被災地の課題に

迅速に対応できる復興庁組織の構築を強く要望してきたところです。

復興創生期間終了後も継続して実施する必要がある事業については、継続して実施できるように、また、住民の包括的な支援をするソフト事業の充実について関係各所に引き続き要望してまいります。

さらに、長泥地区についても拠点区域外の対策が具体的に示されていないので、帰還困難区域を抱える6市町村で連携し、国に強く要請してまいります。

深谷復興拠点「道の駅」等について

質問 道の駅の経営状態は赤字と聞いているが、黒字転換とするためには、どの程度売上げを伸ばす必要があるのか。

また、現在整備中の多目的広場の収支計画

と運営について伺う。

答 経営的に厳しい状況が続いております。経営を改善するために支出を抑えながら収入を増やす施策を実施し、まずは単年度の黒字を目指してまいります。

今後、外商も積極的に取り組んでまいります。多目的交流広場については、子供たちが楽しめる所にしていきたくて考えておりますので、家族連れを広場に集客することにより、道の駅や村内の飲食店や商工業者との相乗効果を期待して整備するものです。

多目的広場の維持管理の財源としては、北風と太陽基金の充当を考慮しております。地元組織（老人クラブなど）で運営できる工夫をしてまいります。

義務教育学校について

質問

義務教育学校は、今年9月に条例制定、義務教育学校設置の申請をしないと4月開校に間に合わないというが、その進捗状況について伺う。

答 9月末日までに県教育委員会に対して「義務教育学校設置協議書」を提出しなければなりません。その協議書に設置条例制定の議決書を添付することとなっております。

来年3月末日までに設置届を提出し、令和2年4月1日の開校に遺漏のないよう手続きを進めてまいります。進捗状況であります。概ね工程に沿った進捗状況であると認識しております。

質 第6次総合振興計画の進捗状況は

答 来年9月の定例議会に提出すべく作業を進めている

質問 第6次総合振興計画の進捗状況を伺う。

答弁 健康・福祉・環境の部会、産業・観光・移住の部会、教育・文化の部会、防災・建設・行財政の部会の4部会を設置し各分野約8名の委員で専門部会を設置します。委員は半数以上を住民代表で構成します。その後、村民の代表・有識者・各種団体の代表などで構成する策定審議委員会の

復興拠点について

質問 深谷地区復興拠点エリア多目的交流広場の維持管理費と財源をどこから捻出するかを伺う。

答弁 まだ完成していませんし、色々やってみないとわからないところがありますが、年間約600万円程度と見込んでいます。内訳は屋内運動施設が約400万円、多目的交流広場が約200万円、内、電気代等が約300万円程度かと思えます。その他10年ごとに約2000万円程度の施設メンテナンス費がかかってくると思えます。

答弁 この施設は直接的に収入が上がる施設ではなく、子どもたちが楽しめる事を目的とし、家族連れを集客することにより、道の駅や村内の飲食店をはじめ商業者との相乗効果を期待しています。経費の財源は、「北風と太陽基金」から充当していければと思っておりますが、これから住民にも問いかけて、地元の方、老人クラブの方、色々な団体の方々

佐藤 健太 議員



パークゴルフ場について

質問 パークゴルフ場の現在の進捗状況と維持管理費と財源をどこから捻出するのかを伺う。

答弁 開発許可の手続きに時間を要し、工事が予定どおり進められない状況でありました。現在、繰越事業として進めていますが行程が大幅に遅れ、進捗率は20%程度で、間もなく敷地の造成工事が完了し、これから給水設備や雨水排水設備などを整備し、来年秋ごろのオープンに向けて工事を進めています。

質問 維持管理費については、最良の芝の状態を維持するためにその都度、適切に管理を行う必要があります。芝の維持管理で水を散水した場合、年間約1万1,000トンと

質問 年間約600万円の維持管理費との事だが、樹木もたくさん植える様な計画だったと思うが、広場の方の手入れの人員費だけでもこれでは足りないのではないかと。

答弁 将来的な維持管理費を考えると井戸を掘っての給水が必要だと考えています。また、雨水や引水を使つてはどうか。

質問 水道料金の概算が出ていますが、井戸は掘らないのか。

答弁 将来的な維持管理費を考えると井戸を掘っての給水が必要だと考えています。また、パークゴルフ場に限らず色々な施設での雨水の再利用というのでも考えられるので検討していきます。



高橋 孝雄 議員

質 村道管理基準について

答 1級から優先的に改良・舗装を実施している

質問

震災前に格付けされた4級以上の村道について現在利用減少している路線がある一方で、震災後5級村道で利用度の高い路線もある。特に、昇口舗装で立派にでき上がった昇口と、幹線道路からの間にある5級村道が砂利道で、デコボコで、雨降れば水たまり、風吹けばほこりが舞うというところで、現道でもいから舗装にしてほ

しいという要望があるがどのように対応するのか。

答弁

村道の管理基準でありますが、1級から5級までの格付けをしており、1級から3級までの道路の幅は、道路構造令に基づく道路ということでしょうか。

優先的に改良・舗装を実施しております。4級路線は中型車両の通行に不自由のない

ように砂利敷きを行い補修に要する人夫は、地域住民の協力を得ると定めています。

5級路線についても基本的には拡幅改良、舗装はしないで、維持管理のほうは4級と同じように補修に要する人夫は地域住民の協力を得ることに村では決めています。

舗装率は、1級村道は100%、2級村道は92%、3級村道は91%、4級村道は63%、5級村道は23%であり、5級村道は低い数値になっております。

ご質問の5級村道の舗装は、生活道路の観点から農道的役割を考慮し、昇口舗装施工接続の未舗装路線というのが、今要望があるということですのでそれらある程度優先して復興庁事業の農道整備により舗装を進めていきます。

16路線約7.3kmの測量設計を今年度に行つて早期に舗装完了するよう努めていきます。

質問

この16路線7.3kmというのは要望のあった全ての箇所であるのか。

答弁

昇口舗装の586件のうちの16件ということですのですべてを網羅しています。

質問

要望のあった昇口につながる中間の5級村道は全て舗装していただけなのか。

答弁

そういう方向で今進めております。



▲舗装を要する5級村道

牧道を兼ねる村道舗装について

質問

村で600町歩、700町歩とも言われる牧野も除染は済んだものの、このまま放置しておけば当然荒れてしまう。

答弁

村内の17の組合長が協議した結果、牧草地をなんとかしようではないかという話が出た。手のかからない簡単にできる作物は、蕎麦と菜種ということで、村全体の牧野に菜の花、蕎麦の花が咲いたら本当に村はきれいになる。

村全体をきれいな村にするために牧道を兼ねた5級村道を舗装して利用度を上げてはどうか。

答弁

今まで生活道路を中心としてまだ舗装されていない道路も多々あるという部分もありますし、牧道というふうな部分で農道的

な役割は持っていますが、舗装と関連させるのはなかなかむずかしいと思います。

作物、営農体系が一番重要でありますので、できれば国の補助事業を使った形で進めていければというふうに思っています。



▲牧野に菜種をまいた状況

審議結果

令和元年7月(第6回)臨時会では令和元年度予算案件2件、条例案件1件、その他(契約の承認)案件10件が提案され、審議の結果、原案の通り議決されました。

議決された案件は下記の通りです。

- 予算案件1 令和元年度飯舘村一般会計補正予算(第3号)
飯舘村移住定住支援事業補助金ほかで2,674万3千円を増額し、152億2,452万2千円とした
- 予算案件2 令和元年度飯舘村簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)
県道工事に係る補償工事ほかのため、431万5千円を増額補正し、3億8,710万3千円とした
- 条例案件1 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
投票管理者等の1日当たりの報酬を改正
- その他案件1 福島再生加速化交付金事業 飯舘村簡易水道監視設備等整備工事請負契約について
荏原実業株式会社東北営業所と3億2,184万円で契約(落札率97.1%)
- その他案件2 大師堂住宅団地敷地造成工事請負契約について
関場建設株式会社と1億422万円で契約(落札率98.6%)
- その他案件3 土地の取得について(ライスセンター及び米農業用低温倉庫用地)
深谷字二本木前5,931㎡を1,186万2千円で取得
- その他案件4 飯舘村消防団小型ポンプ付積載車の取得について(伊丹沢・八木沢・前田)
福島消防資材株式会社と2,484万7,607円で契約(落札率100%)
- その他案件5 第1号 村道舗装機能回復工事請負契約の変更について
庄司建設工業株式会社と2億7,324万円での契約を2億6,768万1,240円に変更 555万8,760円の減額(当初設計図と現況の違いに伴う変更)
- その他案件6 第2号 村道舗装機能回復工事請負契約の変更について
関場建設株式会社と8,748万円での契約を8,167万1,760円に変更 580万8,240円の減額(当初設計図と現況の違いに伴う変更)
- その他案件7 第3号 村道舗装機能回復工事請負契約の変更について
庄司建設工業株式会社と1億7,820万円での契約を1億7,739万9,720円に変更 80万280円の減額(当初設計図と現況の違いに伴う変更)
- その他案件8 第4号 村道舗装機能回復工事請負契約の変更について
後藤建設工業株式会社と6,264万円での契約を6,070万320円に変更 193万9,680円の減額(当初設計図と現況の違いに伴う変更)
- その他案件9 第5号 村道舗装機能回復工事請負契約の変更について
横山建設工業株式会社と6,199万2千円での契約を5,903万6,040円に変更 295万5,960円の減額(当初設計図と現況の違いに伴う変更)
- その他案件10 第6号 村道舗装機能回復工事請負契約の変更について
滝建設工業株式会社と7,927万2千円での契約を7,757万5,320円に変更 169万6,680円の減額(当初設計図と現況の違いに伴う変更)

令和元年9月（第7回）定例会では 予算案件2件、決算認定6件、条例案件6件、その他（契約の承認）案件7件、人事案件1件、発委2件が提案され、審議の結果、原案の通り議決されました。

議決された案件は下記の通りです。（◎は可否の表決が分かれた議案です。）

- 予算案件 1 令和元年度飯館村一般会計補正予算(第4号)
被災地域農業施設等整備工事、河川等土砂撤去業務等に、23億7,033万1千円を増額補正し、予算総額を175億9,485万3千円とした
- 予算案件 2 令和元年度飯館村介護保険特別会計補正予算(第3号)
平成30年度事業が確定し国・県支出金等返還のため、4,153万円を増額補正し、11億8,081万7千円とした
- ◎決算案件 1 平成30年度飯館村一般会計歳入歳出決算認定について
歳入歳出差引残高8億5,933万7千円の黒字決算を認定
- 決算案件 2 平成30年度飯館村国民健康保健特別会計歳入歳出決算認定について
歳入歳出差引残高7,964万2千円の黒字決算を認定
- 決算案件 3 平成30年度飯館村簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
歳入歳出差引残高30万円の黒字決算を認定
- 決算案件 4 平成30年度飯館村農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について
歳入歳出差引残高30万円の黒字決算を認定
- 決算案件 5 平成30年度飯館村介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
歳入歳出差引残高2,952万9千円の黒字決算を認定
- 決算案件 6 平成30年度飯館村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
歳入歳出差引残高49万8千円の黒字決算を認定
- ◎条例案件 1 飯館村立義務教育学校設置条例
草野・飯樋・白石の3小学校及び飯館中学校を統合し、新たな義務教育学校を設置する
校名を「飯館村立いいたて希望の里学園」とし、令和2年4月1日開校
- 条例案件 2 飯館村職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例
村職員としてスクールバス運転業務に従事する職員がいないことから、スクールバス運転特殊勤務手当を削除する
- 条例案件 3 飯館村職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例
月60時間を超える超過勤務手当の支給に代えて代休(時間外勤務代休時間)を指定できる制度の制定
- 条例案件 4 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
前条例の時間外勤務代休時間を取得した場合は、月60時間を超える分の支給割合の支給をしない条例の整理
- 条例案件 5 飯館村介護福祉条例の一部を改正する条例
消費税増税に伴い、低所得者の第1号保険料軽減強化により、65才以上で低所得者(世帯非課税者等)の介護保険料を減額する
- 条例案件 6 消費税率等の引き上げに伴う関係条例の整備に関する条例
消費税改正などに伴う村内施設等の使用料などを改訂する

- その他案件1 被災地域農業復興総合支援事業効果促進事業 飯舘村ライスセンター等用地造成工事請負契約について
仙建工業株式会社 福島支店と9,504万円で契約(落札率97.3%)
- その他案件2 農業用機械(上飯樋地内 水田農業用機械一式)の取得について
株式会社 南東北クボタ 飯舘営業所と1億7,016万4,800円で契約(落札率86.8%)
- その他案件3 農業用機械(上飯樋地内トラクター付属機器一式ほか)の取得について
株式会社 南東北クボタ 飯舘営業所と1億7,557万2,360円で契約(落札率87.4%)
- その他案件4 農業用機械(上飯樋地内ミニパワーショベル一式ほか)の取得について
コマツ福島株式会社福島支店と3,996万円で契約(落札率84.5%)
- その他案件5 農業用機械(宮内地内 畜産用機械一式)の取得について
株式会社 イワサと2,500万2千円で契約(落札率68.3%)
- その他案件6 農業用機械(宮内地内 堆肥運搬車ほか)の取得について
株式会社 イワサと3,276万2,880円で契約(落札率98.4%)
- その他案件7 災害関連農村生活環境施設復旧事業・福島再生加速化交付金事業 農業集落排水管路工事(草野第1区・草野1期②)請負契約の変更に
について
荏原実業株式会社 東北営業所と1億5,768万での契約を 1億6,728万6,600円に変更する 960万6,600円の増額(地下水の影響を受けない管路埋設に変更)
- 人事案件1 教育委員会の委員会委員の任命につき同意を求めることについて
菅野 クニ 氏(宮内行政区)の任命に同意
- 発委案件1 発委3号 新たな過疎対策法の制定に関する意見書(案)
過疎地域に住み続ける住民にとって安心・安全に暮らせることは、都市をも含めた国民全体の安心・安全な生活に寄与するものである。新たな過疎対策法の制定を強く要望。(内閣総理大臣 総務大臣 財務大臣 農林水産大臣 国土交通大臣 あて)
- 発委案件2 発委4号 幼児教育・保育の無償化を求める意見書(案)
本年10月からの幼児教育・保育の無償化の実施にあたり、すべての子どもに格差なく質の高い保育を保障するよう要望。(福島県知事あて)

賛否が分かれた審議は下記の通り

議案名	議員氏名								賛成	反対	審議結果
	佐藤健太	長正利一	佐藤一郎	高橋孝雄	高橋和幸	渡邊計	佐藤八郎	相良弘			
平成30年度飯舘村一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	欠	×	×	○	5	2	認定
飯舘村立義務教育学校設置条例	○	○	○	○	欠	×	×	○	5	2	可決

○は賛成、×は反対、欠は欠席。議長は採決にかかりません。

議会の主な動き (7～9月)

- 7月
 - 11日 総務文教常任委員会 所管事務調査
 - 17日 義務教育学校準備委員会
 - 19日 広報編集特別委員会
 - 22日 議会運営委員会
 - 22日 議会運営委員会
 - 22日 第6回臨時会本会議
 - 31日 産業厚生常任委員会 所管事務調査
- 8月
 - 21日 県町村議会正副議長・事務局長研修会
- 24日 高木元経済産業副大臣との懇談会
- 30日 議会運営委員会
- 9月
 - 3日 全員協議会

- 第7回定例会本会議 (開会)
- 5日 常任委員会
- 5日 本会議 (一般質問)
- 6日 本会議 (一般質問)
- 6日 全員協議会
- 10日 決算審査特別委員会 (個別説明)
- 11日 決算審査特別委員会 (総括質問)
- 12日 決算審査特別委員会 (総括質問)
- 17日 議会運営委員会
- 17日 全員協議会
- 17日 本会議 (議案審議)

12月13日	本会議 (議案説明)
12月17日	本会議 (一般質問)
12月18日	本会議 (一般質問)
12月20日	本会議 (議案審査)

産業厚生常任委員会 所管事務調査

所管課及び関係団体から、令和元年度重点事業の進捗と課題について調査を行いました。

調査内容

- 復興対策課
 - 36事業の進捗状況
- 建設課
 - 16事業の進捗状況
- 健康福祉課
 - 46事業の進捗状況
- 農業委員会
 - 農地管理中間事業へのかかりについて
 - いたてホーム
 - 入居者の現状と介護職員の確保について
- 社会福祉協議会
 - 14事業の進捗状況

所見

復興対策課においては、パークゴルフ場の整備の遅れの対応と、維持管理に考慮した芝を選定するべき。



▲各担当課の説明を聞く

総務文教常任委員会 所管事務調査

認定こども園・小中学校の学習状況について調査を行いました。

調査内容

- 認定こども園
 - 保育方針・施設見学・保育状況の視察
- 小中学校
 - 教育方針・授業風景の視察

所見

認定こども園においては、0歳児から年数を追う毎に良き成長が見られる。小中においては、教科毎に複数の教師がおり学力向上が期待できる。中学生の給食の時間が短く感じられた。



▲授業風景の視察

編集後記

常任委員の任期満了にあたり、次のように代わりました

産業厚生常任委員会	委員長 高橋 孝雄	副委員長 長正 利一	委員 菅野 新一
総務文教常任委員会	委員長 佐藤 一郎	副委員長 高橋 和幸	委員 相良 弘
議会運営委員会	委員長 高橋 孝雄	副委員長 佐藤 一郎	委員 相良 弘
発行責任者	議長 菅野 新一	編集 長正 利一	編集 相良 弘
広報編集特別委員会	委員長 相良 弘	副委員長 佐藤 健太	委員 渡邊 計
	委員 高橋 孝雄	委員 佐藤 健太	委員 高橋 孝雄
	委員 長正 利一	委員 相良 弘	委員 長正 利一